

8月月例山行 「針ノ木岳・蓮華岳」 報告

朝井紀久子

- * 日 程 : 2023年8月26日(土)~27日(日) 1泊2日
- * 場 所 : 針ノ木岳 2,820m、蓮華岳 2,799m (北アルプス)
- * 参加者 : 高倉洋一、萩原みか、塚越和子、行方真由美、倉崎知恵、那須朋美、
稲越洋一(SL)、朝井紀久子(CL) 計8名
- * 天 候 : 両日、晴れ時々曇り、風なし、暑すぎず。山の上ほど霧がちながらも雲の動きにて眺望は所々で望めた。1日目朝は快晴、徐々に雲が湧き、蓮華岳登山時は霧がち。小屋泊の夜間に激しい雷雨。翌朝濃霧、針ノ木岳登山時は霧の晴れ間あり。
- * 行 程 : 集合場所へはそれぞれで移動 (①夜行バス ②麓前泊+タクシー ③自転車)
8/26(土) 5:30 扇沢駅集合 5:50 針ノ木岳登山口→7:10 大沢小屋 7:20→(針ノ木雪渓横・夏道、渡渉・岩場あり)→10:55 針ノ木峠・針ノ木小屋(チェックイン・デポ) 11:15→13:05 蓮華岳 13:25 →14:10 針ノ木小屋(泊)
8/27(日) (朝食・デポ)針ノ木小屋 5:30 →6:30 針ノ木岳 7:15 →8:00 針ノ木小屋(荷物準備・トイレ) 8:30 →(針ノ木雪渓横・夏道、渡渉・岩場あり) →10:50 大沢小屋 11:00 →12:00 針ノ木岳登山口・扇沢駅(下山)。温泉後解散。
(1日目8時間20分、2日目6時間30分/歩行距離15.4Km/標高差1,397m)

数日前からの天候不安定さで、催行自体を直前まで検討。稲越SLの詳細な予報分析と共に、皆さんの意識も高まる雰囲気を感じました。当日朝は快晴で安堵の登山開始。7月下見時の雪渓登りと比べ、8月は雪渓も消滅し、鎖を伴う険しい岩場の夏道となりました。しかし参加者の皆さん、慎重に問題なく通過され、ほっとしました。沢の水量も少なく渡渉も危険なし。前上方に針ノ木岳へと続く峡谷、後方に爺ヶ岳が美しくそびえます。そして足元には晩夏の花が点在し、詳しい参加者が名を語られます。



途中から山岳救助隊員(遭難防止常駐隊)の方が偶然同行され、楽しいお話も聞けました。そうした景観や会話と、思いのほか楽だった気温に助けられ、標高差ある急登を何とか登り、針ノ木峠・小屋に早めに到着できました。



小屋にデポ後、体調を自己申告頂き、登山可能な7名で蓮華岳へ。麓に比べ霧がかっている中ですが、雲の流れで、すーっと眺望も開ける時もあり、美しい稜線と、明日登る針ノ木岳も垣間見えました。群落が有名なコマクサは、最盛期は過ぎたものの、僅かにその姿を見せてくれました。

翌朝の晴れ予報にて予め早出を計画。夜の雷雨は思いのほか激しく、早朝の一瞬は、小屋から美しい穂高連峰や槍ヶ岳などが見え感激するも、間もなく周囲一面濃霧に。ここで最新の天気予報を得た稲越SLが、針ノ木岳への出発を30分遅らせる事を提案。これが最良に功を奏し、登山開始時こそ濃霧の中ながら、徐々に視界が開け、登頂時に抜群のタイミングで、眼下に黒部湖、その先に立山三山と剣岳など連なる峰々の眺望を目にすることが出来ま



した。先に登った方々が視界なく残念に下山して行った後で訪れているこの僅かな時間は、奇跡的とも思え、自然との巡り合わせと、参加者の日頃の行い？(笑)に感謝しました。

後立山連峰や南アルプス方面まで、360°のパノラマを堪能後、下山開始。針ノ木岳山頂から爺ヶ岳まで続く、美しい「針ノ木岳サーキット」と呼ばれる稜線や、霧がうすれ徐々に姿を見せる朝焼けの針ノ木の峡谷。その眺望をしみじみ味わいながら、下山しました。標高差とロングコースにて疲労もあったかと思いますが、適宜休憩を入れ足並みが揃い、山行することができました。下山後、車で15分の所にある温泉(薬師の湯)も有難かったです。

* 参加者の感想 *

【行方真由美】

360度の素晴らしい景色が見られた針ノ木岳の山頂でした。
山行の直前まで、そして針ノ木小屋から針ノ木岳山頂を目指す直前の早朝まで天気を読んで行程を考えてくださった稲越さん、朝井さんおかげで、山頂で奇跡的にガスが消えて立山、北アルプスの山並みが見えたのは、とても感動しました。ありがとうございました。高山植物もまだまだ咲いてました。メンバーとの小屋泊、山話などの楽しい時間も沢山ありました。ご参加された皆様、大変お世話になりました。

【塚越和子】

針ノ木岳は、鹿島槍の歩きやすい道とは、違い、変化に富む、存在感のある山でした。渡渉あり、ザレ場、ガレ場、岩場、鎖場、その上、稲越さんの天気の読みのおかげで、立山、剣、黒部ダムの展望まで、味わえました。大満足の山行でした。😊

【高倉洋一】

天候に恵まれた針ノ木岳山行は、適度な岩歩きと高度感のある山頂滞在を楽しめました。今回は荷物の軽量化も私の一つの課題として工夫し、概ねいい感じの山行ができたと思います。CL 朝井さん、SL 稲越さん、周到なご準備ありがとうございました。

【那須朋美】

天候にも恵まれ、遭難対策協議会の隊長さんの話も聞いて、和気あいあいと楽しく登ることが出来ました。とっても有意義な山行でした。27日朝の景色です。



【萩原みか】

針ノ木雪渓からコマクサ群落で名高い蓮華岳に登り、針ノ木小屋泊。翌日針ノ木岳山頂から360° 展望を望み黒部湖を見下ろす。この盛り沢山な企画の魅力が全部叶った。雪渓は今年は雪解けが早く、梅鉢草がたくさん咲く夏道ルートになったがそれも良し。針ノ木岳山頂から立山連峰と剣岳の眺めは素晴らしく感動だった。

事前の天気予報が良くない中の催行判断や連絡、当日の天気の情報集めから適期な山行の時間の判断、それから鎖場や急登の砂礫地の通行の注意点などなど技術的にも実地訓練になり、数多く学ばせていただきました。ありがとうございました。

【倉崎知恵】

直前まで雨の心配があり、一度は諦めた今回の山行ですが、まずまずのお天気となり、特に針ノ木岳山頂から見る景色が素晴らしくとても良かったです。また、夏の終わりで雪渓はありませんでしたが、色々な花が楽しめたのも良かったです。

針ノ木峠までの登りは苦しい時があり、寝不足とは言え体力のなさを痛感しました。そして何より、皆さんに色々教えて頂き、益々登山が好きになりました。お世話になりました。ありがとうございました。また、丁寧な事前準備をしてくれた朝井さん、常に天気予報を確認しリードしてくれた稲越さんのお陰で最高の山行でした。本当にありがとうございました。

【稲越洋一(SL)】

針ノ木岳というと、北アルプスでは余り注目されない山域(渋い選択?)なのではないでしょうか、登山口の扇沢からは、トロリーバスに向かう人(立山)、柏原新道(爺ヶ岳方面)に向かう人は多かったです。針ノ木登山口は静かなものでした。8月は時期的に名の知れた雪渓は消滅し、花の時期も過ぎていましたが、目的のひとつである頂上からの眺望は僅かな時間ですが、剣岳始め、立山連峰、黒部湖など見る事ができました。参加者も長い急登や岩場の夏道を乗り越えて初登頂を楽しめた様です。針ノ木小屋のスタッフにネパールからの方々もおおり、先の下見時の事を覚えていた様で小屋の方々との交流も楽しみのひとつですね。足のそろった参加者のみなさん、行程も遅れなく、又事故もなく、大変お疲れさまでした。

【朝井紀久子(CL)】

日本山岳会・埼玉支部に入会した年、初めての宿泊登山が「爺ヶ岳・鹿島槍ヶ岳」で、その素晴らしさに感動しました。翌年に隣の「唐松岳・五竜岳」にSL参加で学ばせて頂き、初めて“後立山”という山域を意識できるようになりました。じっとその山域地図を見ていたので視界に入っていた「針ノ木岳」とは？ この素朴な思いで、登山先輩の稲越さんに雑談で話した所、興味を持って下さり、支部山行のご協力を得られ実現しました。少しずつその山域を知っていくという山行の広げた方もとても楽しいものと感じました。今回の山行では、稲越さんを始め、参加者の皆さんにも、朗らかな交流や、調整時の各種相談に迅速なレスポンスと快いご協力、さりげないお気遣い等、その人ごとのお人柄にも深く感じ入るものがありました。楽しさと同時に、深く感謝しています(*^*)。ありがとうございます。